

1, 2級(ダブル受講)

2020年1月4日作成

1日目

2級講座

<座学>

ヘッドマッサージとは

水を使わないドライヘッドマッサージがどのようなものか文章で把握しましょう！1級講座の専門店レベルのヘッドマッサージとの違いは何か？

健康な頭皮とは？3つの判断基準

頭皮の動き・むくみ・色について判断基準を知りましょう！そして、お客様との「共通言語」を使って、①現状を把握し②目標を立て③継続させることがポイントです。結果にコミットできるセラピストになろう！

ヘッドマッサージで期待できる効果

13の項目に分けてお伝えします。「科学的根拠がある施術」を行えるようになれば自信が持てます！

頭部の骨

骨を覚えていなくても施術はできますが予習動画を復習にも使えるのでスマホ等で暗記してください。S級(小顔頭蓋骨調整)の際にもお役に立ちます。骨と不定愁訴(自律神経失調症)の関係とは？

頭と顔の筋肉

筋肉の役割や構造を知ることお客様に合わせた施術が行えるようになります。限られた時間で最大限の効果を発揮するには「解剖学的根拠とツボ」が必要になります！

頭痛の主な種類と特徴

大切なのは、施術できる頭痛とできない頭痛、病気が原因の危険な頭痛を見極めることです。知らずに行うといつか大変なことになります。

ヘッドマッサージの禁忌

9つの項目に分けてお伝えします。サロンで一番最初に行うクレーム対策が禁忌の設定です。この業界特有のもので意味を一つずつ理解しましょう！ここを手を抜いてはいけません！

施術の際の注意点(ヘッドマッサージのやり方)

体のほぐしマッサージと同じようにすると危険を伴います。8つの項目に分けてお話しますが、実技では、より細かな部分までお伝えします。

<実技>

ヘッドマッサージ約40分コースのやり方

- ・介護でも使える最上級に丁寧な頭の扱い方
- ・リラクゼーショングルーミング

- ・肩もみと肩井(けんせい)のツボ押し
- ・首もみと天柱、風池、完骨のツボ押し
- ・側頭部のリフトアップ
- ・頭頂部のリフトアップ
- ・頭頂部のツボ押し
- ・後頭部の揉捏
- ・側頭部の揉捏とリフトアップ
- ・頭頂部の揉捏とリフトアップ
- ・顔のほぐし
- ・耳のほぐし
- ・主訴への対応
- ・正中線の揉捏
- ・仕上げ

2日目

1 級講座

<座学>

ヘッドマッサージの集客ターゲット

脳疲労、VDT 症候群といったヘッドマッサージを必要としている人々について深く知り、施術サービスを研ぎ澄ますことで様々な問題を解決していきます。集客に役立つチェックリストと予防法、解消法、化学(医学)的に正しい適切なアドバイス方法、そして、頭専門店独自のノウハウなど、なるべくサロンワークを想定して授業を進めていきます。

脳疲労(脳過労)とは

人はどのようにして脳にストレスをためるのか？脳が過労状態になると身体にどのような影響を及ぼすのか？そのプロセスと主な症状を知ることで私たちセラピストに何ができるのか？頭ほぐしのプロになるために必須の知識をお伝えします。

VDT 症候群とは

事業所の約 97%はコンピューター機器を使用しています。(厚生労働省 H15 調べ)そして、スマホ普及率は 2019 年で 85%超。(Fastask 調べ)パソコンやスマホが及ぼす脳や体への影響を学ぶことでお客様に寄り添ったサービスが行えます。

頭蓋リズムと脳脊髄液

自律神経、ホルモンバランスの乱れを改善し様々な症状が緩和または解消していく流れを説明します。また、睡眠の重要性とヘッドマッサージにできること、してはいけないこと、などを科学論文をもとにお伝えします。頭をほぐして自然治癒力が向上する理由を自信をもって論理的に説明できるようになります。

<実技>

整体法が入ったヘッドマッサージ 60 分コース

- ・2 級講座の実技テクニック
- ・全身の流れを整える

- ・猫背予防
- ・整体法(ポンピング法、ロッキング法、頭蓋底リリースなど)
- ・座位での仕上げ

<参考>

- オキシトシンを出すには〇〇します。
- セロトニン活性化に〇〇します。
- コルチゾールを出さないように〇〇します。
- ストレートネックの予防のために〇〇します。
- 頸椎ヘルニアが悪化しないように〇〇します。
- 脊柱管狭窄症が悪化しないように〇〇します。
- 深い眠りのために〇〇を整えます。
- 自律神経を鼓舞するために〇〇します。
- ホルモン調整のために〇〇します。
- 脳脊髄液の流れを促進するために〇〇します。
- 感覚ではなく客観的に効果が判断できるように〇〇します。
- 更年期の症状対策のために〇〇します。
- 頭蓋骨を緩めるために〇〇にもアプローチします。
- 全身の筋肉、関節を間接的に緩めるために〇〇します。
- 関節を広げるために〇〇します。
- 頭痛誘発筋をピンポイントで〇〇します。
- 肩こり予防、施術の効果持続のために〇〇もします。
- 頭や首のリンパを流すために〇〇します。
- トリガーポイントを意識して〇〇します。
- 筋膜リリースを意識して〇〇します。
- 最上級のリフトアップを意識して〇〇します。
- 頭皮のむくみを改善するために〇〇します。
- 眼精疲労の方には〇〇も合わせてやります。
- 後頭部痛の方には〇〇も合わせてやります。
- コメカミの凝りには〇〇も合わせてやります。
- 不眠症の方には〇〇も必ずやります。
- 自律神経失調症の方には〇〇を繰り返しやります。
- 鬱の方には〇〇をやります。
- センスや感覚だけでやるのではなく〇〇化します。
- 初回のお客様にも施術の価値が伝わるように〇〇します。
- 施術後の目覚めが良くなるように〇〇します。
- 施術後のアドバイスに説得力を持たすために〇〇します。
- 高単価でもリピートさせるために〇〇します。
- 誤解やクレームがないように〇〇します。
- 施術事故がないように〇〇します。